

コンビネーション322号

いまの自分より強くなろう

函館チェスサークル・インターネット通信

2016年 4月 8日 発行



写真はすべて北海道チェス選手権大会より

~~~~~

北海道チェス選手権大会特集(2)

~~~~~

山田弘平が函館勢の棋譜解説をつけました。できればチェス盤にならべて見てください。

世界チェス界標準の記号があります。！好手、！？面白い手、？！奇手、？悪手の記号は覚えておきましょう。！？は良い感じ、？！は良くない感じのニュアンスで使われます。！！と？？は強調であり、絶妙手と大ポカです。

~~~~~

コンビネーションが見られる、印刷できる

~~~~~

棋譜解説が白黒印刷ですみません。ホームページでコンビネーションのカラー版PDFを公開していますし、印刷もできます。ご活用ください！

~~~~~

宿題を出したいのです！

~~~~~

今年度は、以前よりさらに実力向上を目指したいと考えています。宿題を出したいのです！

私がプリントを出し、子どもたちがそれぞれやってくる。それを私が採点して返すことを繰り返したいです。感想も書いてもらいますが、普段できないそぼくな質問、要望も書いてもらえば必ず対応しま

す。保護者の方々にもご協力をいただきたいのですがよろしいですか？

やるのは小中学生全員、他の方はおまかせします。各人レベルがちがうので全部正解出せると考えていません。全部ミスでも、やれば100点。分かっている、やらなければ0点です！

さあ、今の自分より強くなりましょう！

~~~~~

日本チェス協会会員証を配布

~~~~~

かなり遅くなって申し訳ありませんが、昨年度のJCA会員証を配布します。年会費の領収証がわりです。普通は使用しません。

~~~~~

4月15日(金) 一日入学体験

~~~~~

ルール確認、ビデオ上映、ブリッツ交流などをする予定です。生徒さんにも普通に来ていっしょに勉強してほしいと思っています。

~~~~~

4月22日(金) 懇談会

~~~~~

4月22日(金) チェス教室の裏で懇談会を実施します。お忙しいとは思いますが、ご都合つけてお集まりください。議題は5月22日のチェス大会のことですが、小中高の情報交換もできると思います。よろしくお祈りします。

なお4月29日(金) チェス教室お休みにします。このように年間計画(スマホで見れます)とちがう場合のみ、通信コンビネーションでお知らせします。

さて、2ページ以下が棋譜解説です。



1ラウンド村上さんの試合に大勢が注目！

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

青木康祐—金城琉菜 1 R

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

クイーンズ・ギャンビット・ディクラインド

1. c4 e6 2. Nc3 d5 3. cxd5 exd5 4. d4 Nf6 5. Bg5 Be7 6. e3 O-O 7. Bd3 Be6

(7...Nbd7 や 7...c6 も可能。)

8. Nge2 Nbd7 9. O-O c5 10. Rc1

(図1)



図1 黒番

10... b6

(10... Rc8 は自然で白やや優勢。)

(10... c4 !? がこのような局面では典型的なアイデアだった。クイーンサイド・マジョリティー¹を持つ黒がそちらのポーンを伸ばすのは当然だ。以下、11. Bb1 b5! 12. a3 (ポーンを取るのは、12. Nxb5 Rb8 13. Nbc3 (13. Qa4 Qb6) 13... Rxb2 までのカウンターが決まる。(図2))



図2 13... Rxb2 まで

もどってポーンを取らないと、12... Qb6 13.

Nf4 h6 14. Bh4 Rfe8 まで。白やや良しだろうが、黒は N8d7、a5、b4 という手があるのでプランが立てやすいだろう。)

11. e4

(11. Ba6 Qc7 12. Qa4 で白優勢)

Nxe4 12. Bxe7 Qxe7 13. Nxe4 dxe4

14. Bxe4 Rac8 15. Nc3 Qf6

(単純に 15. Nf6 や 15. cxd4 がよかった。白は主導権を取るのが大変な局面だった。)

16. d5 Bf5 17. Bxf5 Qxf5

18. Nb5 Ra8 19. Re1 Nf6

20. d6 (図3)



図3 黒番

20...Qd7

(その手もよいが、20... Rfe8 21. Rxe8+ Rxe8 ! も面白い指し方だった。以下 22. Nxa7 ? Qd7 ならナイト・トラップ (図4) でナイトがもどれない!)



図4 22. Qd7 まで

21. Nc7 Rad8 22. Re7 Qxd6

23. Qe2 Rd7 24. Rxd7 Qxd7

25. Qe5 Rd8 26. Re1 h6

27. h3 Rc8 28. Na6 (図5)

¹ マジョリティー (ポーン数の優勢)

図のように a7 と c6 に弱点が残る。白がやや有利といえる。)

11... O-O 12. c4! (d5 マスを取る)

12... Qc7 13. h3 h6 14. c5 ?!

(黒は白 c6 ポーンを固定し、可能なら攻める作戦だ。とはいえ、ここは 14. Qc1 ! (図2) とする手だった。)



図2 14. Qc1 ! まで

c4 と d4 の並んだポーンたちがとても強力にセンターを支えているから黒からセンターにしかける手が全然ないといっている。こんな状況だからこそ、白はじっくり駒の配置をよくしていきたい。白のねらいは Rb1、Rd1、Bf4 という配置)

(本譜にもどる。白 14. c5 以後…)

14... Ba6 15. Re1 Bc4

16. Ne5 Bd5 (図3)



図3 白番

17. a4 !? (図3)

(またも非常に深い一手! 白が何をしようとしているか分かるだろうか? 白は a4-a5-a6 とポーンを突いてスペースをうばい、Rb1-b7 と弱点 a7 ポーンへの攻めをねらっている。黒は、17... a5 とこのプランに対抗するだろうが、そのために b6 マスに弱点ができてしまう。)

18. Bf4 Rfd8 19. Qd2 Qe7 20. Rab1 !

(これが白のアイディアだ!)

チェスの土台はもちろんタクティクス (手筋) だが、チェスの真髄 (しんずい) は、このように駒の配置で戦うポジショナル・プレーにある。)

20... Ne4 21. Qe3 g5 22. Bh2 f5 23. Rb6 !?

(白はすばらしいプレーで黒を圧倒。明らかに白優勢だ。)

23... Rdc8



図4 白番

24. Ng6 ?

(悪手だが、悪くない手を見つけるのはすでに難しい局面だ。)

一番しっくりくるのは 24. Reb1 として Rb7 をねらう手。以下 24... Ra7 25. f3 Nf6 26. Qd3 !? (図5) ここで白に多くのねらいがあり、白勝ち。事実上のゲームオーバーだった。)



図5 26. Qd3 !? まで

(24. f3 Nf6 25. Nxc6 !? をコンピューターは最善と診断した。以下 25... Rxc6 26. Rxc6 Bxc6 27. Qxe6+ Qxe6 28. Rxe6 Bxa4 29. Rxf6 f4 まで白優勢だという。しかし、白が人間なら楽な作戦とは言いにくいだろう。)

(本譜にもどろう。)

24... Qg7 25. Ne5 Ra7 26. Nd3

(26. f3 ! なら白はまだ優勢だった。)

26... f4 ! (カウンター・アタック)

27. Qe2 Qxd4 28. Qd1 Nxc5

29. Nxc5 Qxc5 30. Rb3 Bxb3

31. Qxb3 Qd5 32. Qb6 Rf7 (図6)



図6 32... Rf7 まで

(ここまで来ると確かに白は完全に負けた。しかし、この後、白は非常に強力な受けを見せてくれる。私のコーチいわく「論理的思考と具体的な読みは、どんなにひどい場面でも役に立つ」)

33. f3 !

(論理的思考だ。ビショップを世に出したい。)

33... Rd7 34. Kh1 ! Kf7

35. Bg1 Qd2 36. Re5 Rd5 ?? (図7)

(黒の大ポカだ。しかし、白がしっかりプレーしているからこそ引き出したポカだといえる。)



図7 白番

37. Qb7+ !

(紗可ちゃんが見つけたウィニング・ムーブ!)

37... Kf6 38. Rxd5 Qxd5 39. Qxc8 Qc4

40. Qh8+ Ke7 41. Qxh6 Qxa4

42. Qxg5+ Kd7 (図8)



図8 白番

43. g4 ?

(持ち時間切迫のためか?しかし、時間があっても正しい手を見つけるのはそう簡単ではない。43.

Qg7+ Kd6 44. h4 が簡単だったろう。以下もしも、

24... Qb5 なら 45. Qf8+ ! Kd7 (45... Ke5 46.

Qh8+ ! Kd6 47. Qd8+ Ke5 48. Bd4+ Kf5 49. Qg5#

(わお!)) 46. Qxf4 で白勝勢。(または 46. Bc5 でもよい)

43... fxg3 44. Qxg3 Qc4 45. h4 a4 46. h5

a3 47. Qe1 ?

(47. h6 ! パスポーンは突くべしの格言どおり !

47... a2 48. Qg7+ \$1 Kd6 49. h7 Qh4+ 50. Bh2+

チェックで白勝ち!)

47... Qc2 48. Qa1 a2 49. h6 c5 50. f4 ?

(50. Qg7+ Kc6 51. h7 白勝勢。)

50... Qe4+ (黒勝勢) 51. Kh2 Qxf4+

52. Kg2 Qxh6 ? 53. Qxa2

(形勢五角!)

53... Qg5+ 54. Kf1 Qf4+ 55. Bf2 c4

56. Ke1 Qe4+ 57. Kf1 Ke7 58. Qa7+ Kf6

59. Qb8 Qc2 60. Qf4+ Ke7 61. Qc7+ Kf6

62. Qd8+ Kf5 63. Qf8+ Ke4 64. Qf6 Qd1+

65. Be1 Qf3+ (図9)



図9 白番

66. Bf2 ??

(「クイーンを交換したら負けだと思った」と紗可ちゃんが局後にくやしがったミス。66. Qxf3 Kxf3 67. Bc6 Ke3 68. Ke1 Kd3 69. Bg7 c3 70. Kd1 まで、クイーン交換すればドローだった！)

66... Qxf6 67. Ke1 Qb2 68. Kf1 c3

69. Be1 c2 70. Bd2 c1=Q+

71. Bxc1 Qxc1+ 72. Kf2 Qe3+

73. Kg2 Kf4 74. Kh2 Kg4

75. Kg2 Qe2+ 76. Kh1 Kg3

77. Kg1 Qg2# 0-1

(延々77手のシーソーゲーム。初心者としては胸を張っていい紗可ちゃんの敗戦！)

XX

佐藤翼一真鍋宏章 5R

XX

ニムゾ・インディアン・ディフェンス

1. d4

(このゲームに勝つことが大会の優勝に直結することを考えれば、このゲームが勝負所だ。この大会くらい高いレベルではタクティクス³のチカラがものをいう。もっと強くなりたいならタクティクスをみがくべきだ！)

1... Nf6 2. c4 e6 3. Nc3 Bb4

(いわゆるニムゾ・インディアン・ディフェンス。黒にとっては固い、信頼できる定跡といえる。)

4. Bd2 c5 5. e3 Nc6 6. Nf3 O-O 7. Bd3 d6

8. O-O (図1)



図1 黒番

8... e5 !

(黒が何もしなければ Qc2-Rfe1-a3 まで白は万全

の形だ。そうなる前に……。黒はナイトを展開し、キャスリングし、センターを攻める。非常に参考になる指し手だ。)

9. d5 Ne7 10. h3 Ng6 11. Bxg6 ?!

(一般的には持っているビショップ・ペアをそう簡単にすててはいけない)

11... hxg6 12. Ne2 e4 13. Ne1 Bxd2 14.

Qxd2 Nh5 15. Nf4 Qg5 16. Nxf5 gxh5

17. Kh2 h4 18. Qc3 Re8

(白ナイトに比べて働きのあるビショップ、そしてスペース・アドバンテージ。ここまで黒は絶好調だ。)

19. Nc2 Re5 20. Rg1 Rf5 21. Raf1 ?!

(図2)



図2 黒番

(ここまで白はよく守ってきたが、実戦では(特に守っている方は)タクティクスに気を付けなければならない。すべての可能な指し手を考えに入れる必要がある。)

(可能な選択肢としてあるのは、21. Rgf1 Bd7

(ねらいは b7-b5) 22. a4 ! まで互角。)

(あるいは、21. f4 !? 21... exf3

(21... Qg3+ 黒優勢。) 22. gxf3 Qh6 (22... Qe7

\$4 23. Qxg7#) 23. f4 !? 互角。もちろんこの順はなかなか見えずらいし評価が難しい。)

21... Rxf2 ! 22. Rxf2 Qg3+

23. Kh1 Qxf2 24. Na3 Bd7

25. Nb1 Re8 26. Nd2 Re5

27. Nf1 Rg5 28. Qd2

(図3)

(決め手を当ててみよう)

³ タクティクスとは手筋あるいは戦術のこと。



図3 黒番

28... Qf6 ?

(28... Rxc2 ! が正解。 29. Rxc2 Qxf1+ 30. Rg1 Qxh3+ 31. Qh2 Qf3+ 32. Qg2 Bh3 !! 33. Qxf3 exf3 (白は f3-f2 の突きを止められない。)

29. Qe1 Rf5 ?

(「取れる駒があるなら取れ」の格言にしたがうべきだ！ 29... Qxb2 ! 30. Qxh4 f6 白の a2 と c4 が弱点)

30. Nd2 Re5

(決め手が見つからないとプレーが消極的になりがちで、今の黒がそれだ。 30... Qxb2 31. Nxe4 Qe5 32. Qxh4 g5 ! 33. Qg4 Qe7 !! 黒はしっかりと優勢を保っている。こんな手順を指せるようになるのは大変だが、タクティクスを覚えることと先を読むチカラを鍛えることでそれが可能になる。がんばってほしい。)

31. Rf1

(白は駒の活性化を考えながらよく耐えている。)

31... Qg5 ?!

(図4)

(31... Qe7 黒はキングサイドで十分成果があったのでクイーンサイドに切り替えるべきだった。ねらいは b7-b5)

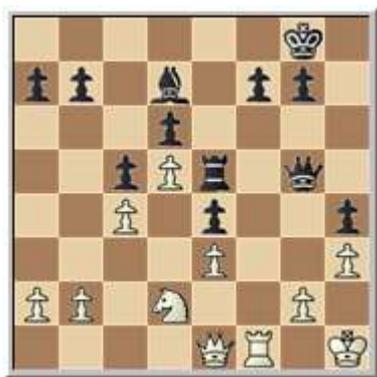


図4 白番

32. Rf4 !

(サバイバルした白がついに反撃に転じる！すでに黒はドロ沼にはまっている。)

32... Qg6 ?

(ここで黒は 32... f5 33. Rxc4 b5 ! と積極的なプレーするべきで、これが最後のチャンスだった。)

33. Qxh4

(駒損を取り返し、駒がアクティブになり、白がやや優位に立った。)

33... Rh5 ??

(プレッシャーの中、黒は簡単なタクティクスを見逃してしまう。)

34. Qd8+ Kh7 35. Qxd7 Qg3 36. Qg4 Qe1+

37. Nf1 ! (e3 を受ける) 37... Rh6

38. Rxf7 Rg6 39. Qf5 Qh4 (図5)



図5

40. g3 !

(黒はルークが動かさず、白は h ポーンを突く。以上終わり！)

40... Qh6

(40... Qg5 41. Qxg5 Rxc5 42. Rxb7 黒勝勢。)

41. h4 Kg8 42. Rf8+ \$1 Kh7 43. h5

(白の Qxg6 を防ぐ手がないので黒がリザイン。翼くんが見事に大会の優勝を決めた。)

1-0